



「天から送られた手紙」

中谷宇吉郎雪の科学館 解説・編集
1999年、47頁、1,200円

「雪は天から送られた手紙である」。これは世界で初めて人工的に雪の結晶を作ること成功した中谷宇吉郎の言葉である。この本を発行した中谷宇吉郎雪の科学館は中谷宇吉郎の業績を称えて、彼の生誕地である加賀市に平成6年に開館された。

本書は2部によって構成されている。

第1部 「天から送られた手紙」を読む字引

第2部 吉田六郎さんの写真で「手紙を読む」

この中で中心になっているのが、第2部の雪の結晶の写真である。撮影者の吉田六郎さんは、中谷博士に協力して「雪の結晶」などの科学映画を作った名カメラマンである。雪の結晶の写真集には、2400枚の写真を並べたベントレーの「Snow Crystals」や科学的に分類された中谷宇吉郎の「雪の研究」、カラーで撮影された小林禎作の「冬のエフェメラル」があるが、それらに劣るものではない。大きく引伸ばしても結晶の隅々まで鮮明さを残しているのは、驚きである。さらに、吉田氏が開発した一光源二色照明法により、ブルーの下地に立体感を持って結晶の模様が浮き上がっている。30枚の写真には、それぞれの結晶の形態や模様

についての説明が数行程度で述べられている。写真に倍率が記載されていないが、表の見返しのページに実物大の雪結晶の図が、裏の見返しのページに20倍での各種の結晶の写真が載せてあるので、結晶の大きさを知る参考になる。

第1部では「天からの手紙」を読む字引である“ナカヤダイアグラム”の説明と、そこに至るまでの中谷博士の雪の研究の道のりが簡潔に分かりやすく述べられている。さらに、雪の結晶形態に関する近年の研究成果にも触れられていて、興味深い。巻末に付録として、雪の結晶のデザインとしての応用例が、中谷の作品を含めて紹介されている。

本書の購入を希望する人は、雪の科学館に定価1,200円と送料160円を添えて申し込むとよい。また、開館時に出版した解説書「中谷宇吉郎雪物語」（定価1,000円、送料160円）も在庫があるとのことである。送金には郵便小為替を利用してもよい。

(埼玉大学 高橋忠司)

購入申込先

〒922-0411 石川県加賀市潮津町イ-106
中谷宇吉郎雪の科学館
Tel : 0761-75-3323, Fax : 0761-75-8088